

聴覚情報保障のためのソフトウェア 活用選定に関する実践報告

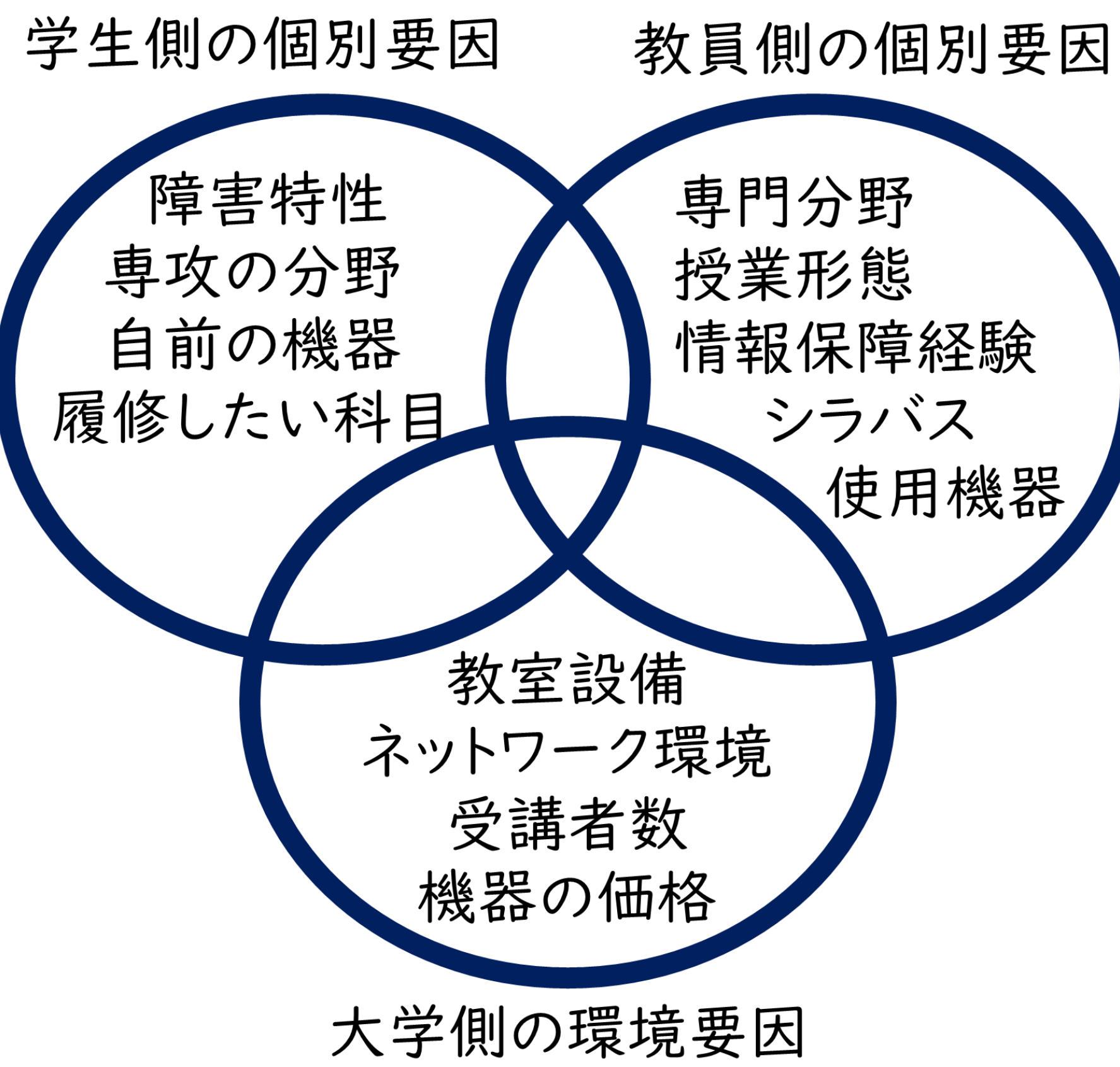
北野麻紀・蒔苗詩歌（北星学園大学アクセシビリティ支援室）



聴覚情報保障を行うとき、様々な個別・環境要因を考慮してソフトウェアを選定していく必要がある。

目的
・本学で活用可能なソフトウェアの把握
・聴覚情報保障時に参照できる活用表の作成

方法
①障害学生・支援学生・担当教員等の利便性を整理、本学での活用選定に関わる評価項目を作成。
②講義室環境で実践検証しながら特徴を評価。



	評価基準
導入の簡便さ	利用学生・支援学生が自身のPC環境でもインストールしたりアクセスしたりすることができる。
日常会話	マスク着用時の会話補助に使える。オンライン面談や対面での会話補助に使える。
専門用語	社会福祉士関連の講義や法律、教職等科目の類似した専門用語を識字できる。
出力の即時性	音声入力からのタイムラグが少なく文字化される。
音声／マイクによる入力	音声入力について他作業をしながらでも使える。★
文字起こし	音声データを文字起こしとして使える。
遠隔時の利用	他アプリと同時利用できる。
ノートテイク;NT	音声認識できない箇所についてNTによって修正できる。★
不具合	音声認識されない、動かない等の報告(=本学ネットワークシステムや設備との相性)
ステレオミキサーとの併用	音声精度を上げるためのインターフェイスを組み合わせることができる。

	導入の簡便さ	日常会話	専門用語	出力の即時性	音声／マイクによる入力	文字起こし	遠隔時の利用	NT	不具合	ステレオミキサーとの併用
1	○ ・ダウンロード必須 ・個人で入手可(無料) ・法人契約有(有料)	○ ・話し方が精度に影響 ・専門用語は単語登録が必要	△ ・単語登録により精度向上の可能性 ・話し手(科目教員)の協力が必要	○ ・自動改行あり	× ・原因不明で急にマイク停止 ・事案多数 ・聴覚障害学生自身では音声入力の停止に気がつかない可能性あり	△ ・長時間になっていくとログが順次消える	○ ・方法の確認は必要 ・誰でも利用可 ・API連携による利用可 ・単一機器のみ ・複数への遠隔配信不可	○ ・パソコン版をダウンロードすることで利用可	△ ・パソコンとの接続時に不具合が起りやすい ・ログ保存はアプリのみだがうまくいかないことが多い ・1時間くらいでログは消える	○ ・インターフェイスを使うと教室内のマイクや映像音声の取り込み可 ・インターフェイスの接続により他機器との併用可 ・接続次第では最大17人で会話可
2	○ ・無料で利用可 ・アカウント作成不要 ・リンクより利用可	△ ・話し方が精度に影響	△	△ ・画面共有のみ可	○			× ・同時共有不可	・確定まで時間を要する	○
3	△ ・無料で利用可 ・アカウント作成必須	○	○	○ ・改行、自動スクロールなし	× ・他操作をすると停止する				・複数で同時に資料編集をするとバグが起きる	○
4	△ ・無料で利用可 ・専用のクラウド	◎	△	○ ・プレスで自動改行	○ ・最小化利用可 ・バックグラウンド利用可	○ ・ステレオミキサーの利用で、音声再生しながら利用可 ・音声入力箇所を自動で開始・停止を押すまで入力持続	○	○ ・訂正可	・よく雨天時に不具合発生	○ ・遠隔アプリとの同時利用可 ・遠隔アプリ内の音声を認識可
5	○ ・無料で利用可 ・個人PCで利用可	◎	○	△ ・画面共有可	× ・アクティブ状態時の利用 ・他操作をすると止まる	○ ・識字率良好			・複数で同時に資料編集をするとバグが起きる	○ ・トランスクリプト機能の利用で200MBまで映像・音声データアップロード可 ・25分程度で2-3分 ・タイムコード、話者分け、保存が良好 ・確認しながらの修正可
6	○ ・ダウンロード必須 ・登録すると時間制限なく利用可 ・登録なしは1ヶ月90分まで ・Windows, Macに対応					◎ ・字幕作成が簡便 ・90分を2-3分で自動字幕作成				
7	○ ・無料で利用可 ・ダウンロード必須	?	?	○					・ログが3日間保存され、コピー利用可	
8	○ ・無料で利用可 ・ダウンロード必須	○	?	○	○	○	○			
9	△ ・無料で利用可 ・毎年度の利用申請必要 ・専用部屋が必要			○ ・NTの連携入力のみ可					・連携入力可 ・カスタマイズ不可 ・アプリによる利用可	
10	△ ・無料で利用可 ・アカウントの作成必須 ・15分未満は、手続き不要で利用可 ・15分以上は、携帯電話番号の登録必須			○ ・リアルタイム配信のみ可能かもしれない		○ ・作業者および利用学生がどこからでも利用可	○ ・オンデマンド形式にのみ有効		・アップロードと自動字幕作成に時間を要する	◎ 90%以上
11	○					○	○ ・オンデマンド形式にのみ有効			○ 80-89%
12	○ ・ウェブブラウザによる利用 ・リアルタイム字幕可 ・チャットツールで複数人が参加するチャット会議、打合せ等で利用可だが即時的な情報のみ ・多言語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語)への自動翻訳機能あり								・議事録作成可だが登録必須	△ 70-79%
13	○ ・ダウンロード必須 ・無料で利用可 ・iPhone, iPadのみ利用可									× 70%未満

まとめ
・活用表作成で特徴を整理したことで、情報保障方法を提案する際の参考になった。
・本報告は、あくまでも北星学園大学特有の結果にとどまる。しかし、活用選定の評価項目(10項目)は、他大学における選定時の視点として参考になるのではないかと。